



美しい 県土づくりNEWS

2023年

7月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第227号
令和5年7月28日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 二級河川沢川 新中の橋樋門強制排水ポンプゲートの暫定運用を開始しました！
- 4 中学生を対象とした「建設業体験学習会」を開催しました！
- 9 県立久慈工業高校のインフラメンテナンス工事現場見学会を開催しました！
- 11 岩手県県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の実施状況・事例等の公表について

三陸復興

二級河川沢川 新中の橋樋門 強制排水ポンプゲートの暫定運用を開始しました！



二級河川沢川 新中の橋樋門 全景

二級河川沢川 新中の橋樋門強制排水ポンプゲートの暫定運用を開始しました！

県北広域振興局土木部

平成28年8月台風第10号、令和元年台風第19号により沿川で大きな浸水被害が発生した二級河川沢川において、浸水被害を軽減するための「強制排水ポンプゲート」を設置する事業を実施しています。

強制排水ポンプゲートの工事は、今年度内の完成を予定していますが、現場においてゲートやポンプの機械設備等の設置が完了したことから、令和5年6月30日(金)より仮設の発電機による暫定運用(出水時に2台のポンプのうち1台を稼働)を開始しました。

位置図



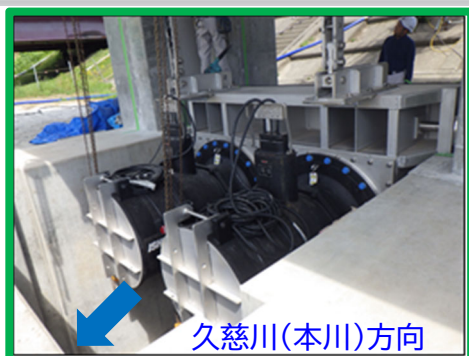
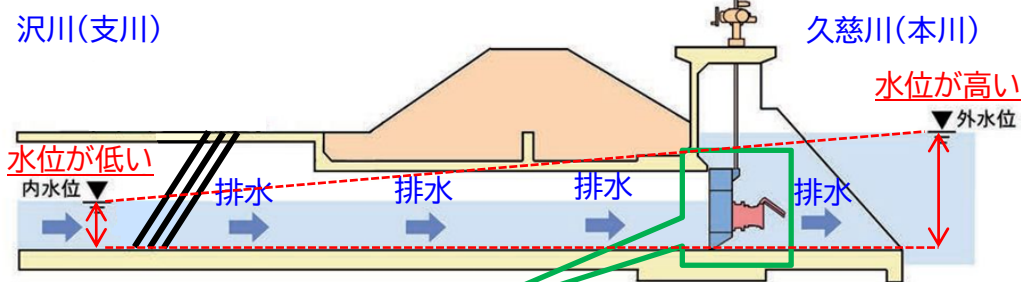
浸水状況



【強制排水ポンプ設備の概要】

強制排水ポンプゲートは、ゲートに水中ポンプが組み込まれており、水位が低い河川から水位が高い河川等へ内水排除を行うことができる施設です。雨水ポンプ場の様な広い敷地を必要とせず、既存水路に設置することが可能です。

強制排水ポンプ設備のイメージ



☆ポイント

強制排水ポンプにより、久慈川(本川)の水位が高い状態であっても、水位が低い沢川(支川)から強制的に排水が可能となります。

【暫定運用前の試運転について】

本格的な台風シーズンを迎える前に暫定運用を開始するため、令和5年6月29日(木)に新中の橋樋門強制排水ポンプの試運転を実施しました。

当日は、久慈市の防災関係部署、久慈市消防署といった関係機関、地域の方々に見守られながら無事、試運転を行うことができました。

県では、暫定運用による浸水被害対策を実施するとともに、引き続き、令和5年度内の完成に向け、予備電源を含む電気設備工事等を進めてまいります。



【問い合わせ先】 岩手県 県北広域振興局土木部 河川港湾課

TEL : 0194-53-4990 FAX : 0194-61-1123

県ホームページ :

<https://www.pref.iwate.jp/kenpoku/doboku/oshirase/1066344.html>

中学生を対象とした 「建設業体験学習会」を開催しました！

盛岡広域振興局土木部

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

1 建設業体験学習会の目的

盛岡広域振興局土木部及び沿岸広域振興局土木部では、建設業における若者・女性の入職を促進するため、管内の中学生を対象とした「建設業体験学習会」を開催しています。

体験学習会では、中学校の生徒や教員と一緒に「県が管理する土木施設や実際の建設工事現場等の見学・学習」を通して建設業への理解を深めていただくとともに、「測量や建設機械の操作等の職業体験」により建設業の醍醐味、面白さ、重要性等を伝える取組を実施しています。

今回は、令和5年7月に開催した『盛岡広域振興局土木部』及び『沿岸広域振興局土木部 大船渡土木センター』の「建設業体験学習会」の様子をお知らせします。

2-1 『盛岡広域振興局土木部』における建設業体験学習会の概要

日 時：令和5年7月5日（水）
※令和5年度開催予定のうち2回目

対 象 校：盛岡市立玉山中学校（2年生）

現場見学：綱取ダム（ダム湖面パトロール、外来魚調査※参考体験）

体験学習：建設機械操作体験（バックホウ等）

協力機関：岩手県建設業協会盛岡支部（株式会社遠忠（体験学習））

2-2 現場見学会の状況



ダム湖面パトロール体験（乗船時）



ダム湖面パトロール体験



外来魚調査体験
※参考体験



外来魚調査体験
※参考体験

2-3 体験学習の状況



バックホウ操作体験



ホイールローダー操作体験



大量の碎石に興味津々な様子



高所作業車試乗体験



最後に建設機械の前で集合写真！

2-4 参加者からのコメント

(中学生)：船に乗ったダム湖面パトロールが一番楽しかった！

(中学生)：建設機械の操作体験は、思っていたよりも簡単だった！

(中学生)：建設機械の値段に驚きました！

(教員)：生徒たちにとって貴重な経験を積むことができたので、機会があれば次回もお願いしたい。

3-1 『沿岸広域振興局土木部 大船渡土木センター』における建設業体験学習会の概要

日 時：令和5年7月6日（木）

対 象 校：大船渡市立末崎中学校（3年生）

現場見学：天神の沢（3）地区砂防堰堤築造その1 工事
※沿岸広域振興局土木部管内

体験学習：測量体験（トータルステーション活用）

協力機関：株式会社山元（現場見学）、株式会社佐武建設（体験学習）



3-2 現場見学会の状況



沿岸広域振興局土木部による概要説明



作業工程の説明



工事現場内の見学



現場見学最後に記念撮影

3-3 体験学習の状況



① 測量作業の説明



② 測量作業開始



③ 方向角度を定めてロープを張る



④ 基準となるポイントを定めて釘打



⑤ トータルステーションで誤差確認



☆先生も測量体験！！

3-4 参加者からのコメント

(中学生)：建設業は私たちの生活と深く関わっていることを実感することができた。

(中学生)：自然災害から人を守ってくれたり、私達が安全に暮らせているのは建設業の人達のおかげだと感じた。

(中学生)：測量体験は慎重な作業でとても難しかったが、貴重な体験ができた。

(先生)：建設業の仕事を通して、働くことの大変さ、やりがい、喜びに触れることができました。生徒達は体験学習を終えてからも測量の難しさや楽しさ、自分の将来のことを話題にしております。今回の体験が生徒達にとって貴重で意味深いものとなりました。

県立久慈工業高校を対象とした インフラメンテナンス工事現場見学会を開催しました!!

～ 道路インフラメンテナンスの理解向上と土木技術者の担い手の確保・育成を推進～

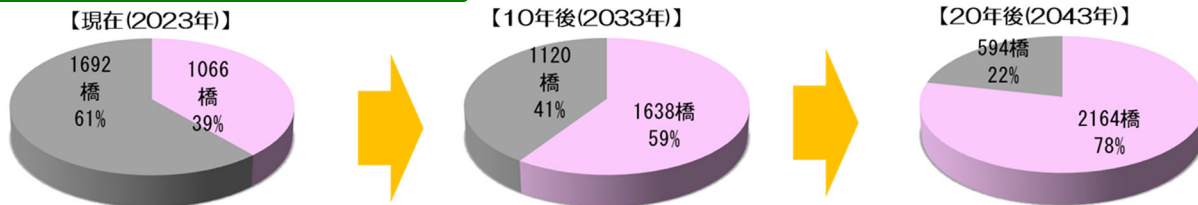
道路環境課
県北広域振興局土木部

県が管理する橋梁（約 2,800 橋）は、建設後 50 年以上経過する橋梁の割合が現在の約 4 割から 20 年後には約 8 割と大幅に上昇する見込みであり、老朽化対策が深刻な課題となっています。

県では、将来のインフラメンテナンスなどを担う土木技術者の担い手の確保・育成を推進するため、令和元年度から県内の土木系学科を有する高校との協働による橋梁点検に取り組んでいます。高校生のインフラメンテナンスに関する早い段階からの興味・関心を促進するため、令和4年度は1～2年生を対象とした橋梁メンテナンス工事現場見学会を開催しましたが、令和5年度は、新たにトンネルや大型道路構造物を含めた「インフラメンテナンス工事現場見学会」を開催することとしました。

第1弾として、7月19日(水)に県立久慈工業高校を対象とした現場見学会を開催しました。現場見学会には、建設環境科1・2年生の生徒9人が参加し、県北広域振興局土木部が工事を進めている主要地方道岩泉平賀普代線の和野山1・3・4号ロックシェッド及び普代浜トンネルの補修工事を見学しました。

建設後 50 年が経過する県管理橋梁の割合



■ 50年以上 ■ 50年未満

※県管理橋梁2,774橋のうち建設年次が確認できる2,756橋の内訳(令和5年3月末時点)

和野山1号ロックシェッドでは、受注者の北星鋳業(株)の指導を受けながら、高所作業車に乗車し、劣化した箇所を間近で確認した後、劣化したコンクリートの撤去作業を体験していただきました。生徒たちは、使用した機械の振動に驚きながら、楽しそうに撤去作業を体験していました。



和野山3・4号ロックシェッドでは、受注者の兼田建設(株)からコンクリート保護等の補修工事の進め方の説明を受けた後、補修の状況を間近で見学したほか、コンクリートを保護するために使用する含浸材の塗布作業を体験していただきました。



普代浜トンネルでは、受注者の(株)小山組の指導を受けながら、トンネル内の舗装を補修するために使用するコンクリートの受入れ検査から打設作業まで、補修工事で行う一連の作業を体験していただきました。



県では、本現場見学会等を通じて、高校生に道路インフラメンテナンスの必要性や重要性の理解を深めてもらうとともに、将来のインフラメンテナンスなどを担う土木技術者の担い手の確保・育成の推進に取り組んでいきます。

【問い合わせ先】 岩手県 県土整備部 道路環境課

TEL : 019-629-5878 Email : AG0004@pref.iwate.jp

【県ホームページ】

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/douro/ijikanri/1041359/1041372/1066820.html>

岩手県県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の実施状況・事例等の公表について

県土整備企画室

近年、豪雨災害等がますます頻発化・激甚化し、局所災害が毎年のように発生していることから、国土強靱化に向けた取組をより一層推進していく必要があります。

このたび、県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の実施状況や効果事例などをとりまとめ、公表しました。

◆ 県ホームページで公開中！

岩手県トップページ > 県土づくり > 県土整備一般 > 県土整備の概要

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kendoseibi/gaiyou/kasokuka.html>

5か年

検索

【効果事例】

【現在実施中の対策事例】

5か年加速化対策 効果事例 岩手県 7

河川 堤防等の整備 (その1)

> 岩手町 北上川 (北上川水系)

対策前 平成22年7月の大水で、堤防が崩壊し、最大1時間雨量59.0mm(記録) 水船橋側所

対策後 令和4年9月大雨時、最大1時間雨量42.5mm(記録) 奥中山観測所

【堤防の整備前】 【堤防の整備後】

【対策の効果】 平成22年7月の大雨での被害を受けて、再度の災害が生じないよう、川幅を広げ、護岸を整備しました。

5か年加速化対策 現在実施中 岩手県 37

砂防 砂防堰堤の整備

> 岩泉町 本銅口の沢 (小湊川水系) > 釜石市 尾崎白浜の沢 (2) (その他水系)

対策実施中

【土石流発生】平成28年台風第10号 (人家1戸損壊、7戸床下浸水)

【土石流発生】令和元年台風第19号 (市道に土砂流出)

【対策の内容】 台風での被害を受けて、再度の災害が生じないよう、土石流を捕捉する砂防堰堤を建設しています。

【今後実施予定の対策事例】

【現場の取組事例】

5か年加速化対策 今後実施予定 岩手県 62

道路 橋りょうの老朽化対策 (その1)

> 遠野市 林崎橋 (国道340号) > 陸前高田市 丘向橋 (国道343号)

対策前

【支梁の損傷】 【防護柵の欠損】

【対策の内容】 損傷のある部材を補修して、橋りょうの延命化を図ります。

5か年加速化対策 現場の取組 岩手県 73

橋梁メンテナンス工事現場見学会の開催

> 軽米町 猿越橋 耐震補強工事 > 西和賀町 鬼ヶ瀬橋 橋梁補修工事

【取組の内容】 将来のインフラメンテナンス等を担う土木技術者の確保・育成を目的に、早い段階から興味・関心を持ってもらうため、高校1・2年生を対象とした工事現場見学会を開催しました。

今回の公表により、「5か年加速化対策」の取組のPRのほか、強靱化の事業を担う「地域の作り手・守り手」である県内建設業の人材確保・育成のため、建設業のイメージアップを通じた就業意識の醸成なども目的としています。



県庁舎1階県民室で開催したパネル展

県ホームページをスマートフォンで見るとこちら



『特集ページ』

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の実施状況・事例等を紹介します！

令和5年度の県土づくりNEWSでは、岩手県県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の実施状況・事例等」を9回に分けて御紹介します。



実施状況・事例等  岩手県 いわた 県

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策
概要 p.3 岩手県の取組 p.3 予算の配分 p.4

- 1 効果事例** p.5 河川 p.7 砂防 p.15 道路 p.20 港湾 p.31
- 2 現在実施中** p.33 河川 p.34 砂防 p.37 道路 p.39
- 3 今後実施予定** p.45 河川 p.47 砂防 p.52 道路 p.55 港湾 p.66
- 4 現場の取組** p.68

■特集ページのスケジュール

掲載予定	対策の状況	分野	内容等
R5.7月号	効果事例	河川、砂防	堤防等の整備、河川の堆積土砂撤去、砂防堰堤の整備、急傾斜地の崩壊対策
R5.8月号		道路、港湾	道路の斜面对策、舗装の補修、橋りょうの老朽化対策、岸壁の老朽化対策
R5.9月号	現在実施中	河川	堤防等の整備、内水対策、洪水浸水想定区域図の公表
R5.10月号		砂防	砂防堰堤の整備、土砂災害が発生するおそれのある箇所への対応
R5.11月号		道路	道路の斜面对策、橋りょうの老朽化対策、道路の整備
R5.12月号	今後実施	河川、砂防	河川整備における今後の取組の背景、河川の堆積土砂撤去、ダム設備の補修、砂防堰堤の整備・老朽化対策
R6.1月号		道路	道路整備における今後の取組の背景、道路の整備、無電柱化の推進、橋りょう等の老朽化対策
R6.2月号		港湾	臨港道路・物揚場の補修
R6.3月号	現場の取組	全般	建設DX、工事現場見学会・出前講座の開催

■今月（令和5年7月号）の特集

今月は5か年加速化対策の「**効果事例（河川、砂防）**」を御紹介します！

『特集ページ』 ～効果事例（河川・砂防）～



5 年加速化対策 効果事例



岩手県 Iwate Prefecture

1

河川 堤防等の整備（その1）

いわてまち きたかみがわ きたかみがわ
➤ 岩手町 北上川（北上川水系）



対策の
効果

平成22年7月の大雨での被害を受けて、再度の災害が生じないように、川幅を広げ、護岸を整備しました。



5 年加速化対策 効果事例



岩手県 Iwate Prefecture

2

河川 河川に堆積した土砂を撤去（その1）

のだむら うべがわ うべがわ
➤ 野田村 宇部川（宇部川水系）



対策の
効果

河川に堆積した土砂を撤去し、水がスムーズに流れるようにしたことで、洪水被害が発生するリスクを低減しました。

『特集ページ』 ～効果事例（河川・砂防）～



5か年加速化対策 効果事例



岩手県 Iwate Prefecture

3

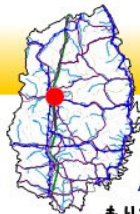
砂防 砂防堰堤の整備（その3）

➤ 山田町 田ノ浜沢（3）（その他水系）



**対策の
効果**

土石流を捕捉し、土砂災害を軽減する砂防堰堤を建設し、下流の人家97戸、避難施設、町道などを保全しました。



5か年加速化対策 効果事例



岩手県 Iwate Prefecture

4

砂防 急傾斜地の崩壊対策

➤ 盛岡市 山岸1丁目（6）



**対策の
効果**

表土崩壊やすべり破壊の防止対策を実施し、人家20戸などを保全しました。